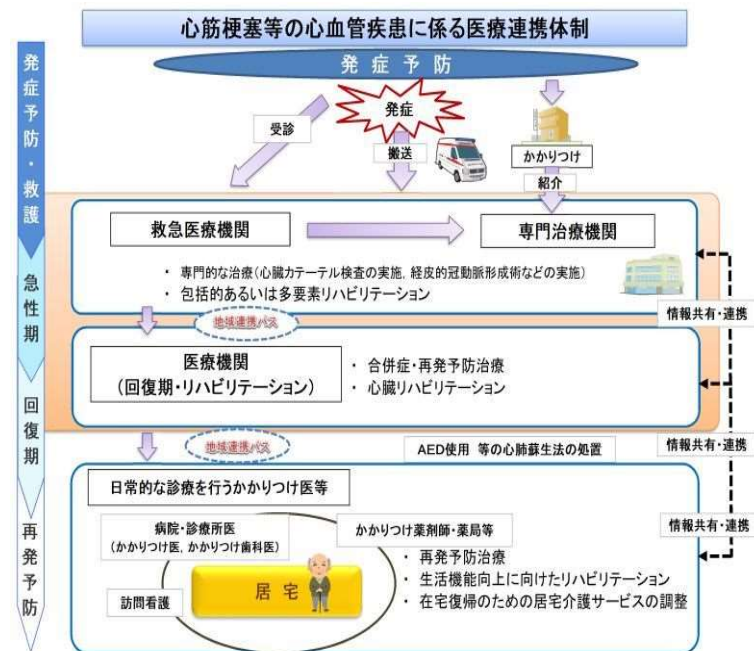


心筋梗塞等の心血管疾患の医療連携体制



[県健康増進課作成]

心筋梗塞等の心血管疾患の医療機能基準

応急医療施設 (確実な診断と迅速な搬送)

- ・ 全身状態の把握、初期診断 (トロポニンなどの血液検査、心電図、心エコー) 並びに応急治療を実施できる。
- ・ 急性期医療機関 (循環器救急病院) や搬送機関との連携のもと、搬送に関する判断や支援を行うことができる。
- ・ 診療ガイドラインに則した診療を実施している。

急性期施設 (急性期の集中的治療)

- ・ 血液検査 (トロポニンなど) や心電図、心エコーが24時間実施できる。
- ・ 緊急心臓カテーテル検査、並びに緊急PCIが24時間実施できる。
- ・ 冠動脈バイパス手術の適応を推定し、手術可能な医療機関と連携している。
- ・ 心不全の管理治療及び不整脈等合併症の管理治療が可能である。
- ・ リスク管理のもとに、早期リハビリができる。
- ・ 転院・退院調整機能を持ったスタッフがおり、転院・退院に際し、患者・家族の精神的サポートができる。
- ・ 転院・退院時カンファレンスを実施できる。
- ・ 地域のケアマネジャーと連携がとれている。
- ・ 転院先と定期的な会合を開催できる。
- ・ 回復期や維持期を担う医療機関と、診療情報や治療計画を共有・連携できる。
- ・ 診療ガイドラインに則した診療を実施している。

回復期施設 (日常生活への復帰)

- ・ 心機能回復のためのリハビリテーションが可能である。
- ・ 運動機能等の廃用に対するリハビリテーションが可能である。
- ・ 血液検査 (トロポニンなど) や心電図、心エコーができる。
- ・ 心不全、不整脈等合併症の管理及び治療が可能である。
- ・ 再発予防に向けた治療等に対応できる。
- ・ 入退院・転院調整機能を持ったスタッフがおり、転院・退院に際し、患者・家族の精神的サポートができる。
- ・ 急性期や維持期を担う医療機関と、診療情報や治療計画を共有・連携できる。
- ・ 地域のケアマネジャーと連携がとれている。
- ・ 転院時・退院時のカンファレンスを実施できる。
- ・ 診療ガイドラインに則した診療を実施している。

かかりつけ施設 (在宅期)

- ・ 患者の状態を総合的に把握している。
- ・ 発症及び再発予防、高血圧、糖尿病、脂質異常症、心不全などの管理ができる。
- ・ 一般検査 (心電図、血液・尿検査等) ができる。
- ・ 急性期や回復期を担う医療機関と、診療情報や治療計画を共有・連携できる。
- ・ 循環器救急病院 (急性期施設) と連携を図っており、再発を疑わせる症状へ即時対応ができ、心機能異常の早期発見ができることが望ましい。
- ・ 訪問診療ができることが望ましい。
- ・ 各診療科医との連携ができる。
- ・ ケアマネジャー、訪問看護、介護福祉サービス、薬局、歯科などと連携し、情報共有を行っていることが望ましい。

[大隅地域振興局作成]